

## 平成 30 年度 第 5 回 理事会議事録

日時：平成 30 年 8 月 28 日（火）19：00～20：40

場所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、高村、磯野、有泉、名取、大西、  
古屋、三科、小林司、鈴木、菊池  
(部長) 小林、入倉

書記：笠井

### 会員管理情報

慶事 0 件 弔事 0 件 施設数 133

会員数 899 名 (施設 840 名 自宅 59 名)

### I. 審議事項 (全 2 題)

#### 1. ①事務所へのカラーコピー機導入について (学術研修部)

事務員の雇用が実現され、発送業務などの業務負担は軽減している。研修会時に参加者に配布する資料は部員の所属施設にてカラー印刷で実施しており、棒大な枚数の印刷を行うことから業務負担が高い。

また、コスト面・印刷納期の面から外部への委託は困難な状況である。そこで、事務局へカラー印刷機を導入していただくことで、部員の作業負担軽減及びコストカットを図りたい。

#### ②カラーコピー機の使用について (事務管理局 有泉局長)

8 月 8 日事務所のコピー機が「コピー (2 色印刷も可)、カラーコピー、FAX、スキャン」の複合型に切り替わった。コピー機の契約は定額制ではなく「基本料+コピー回数」となっている。白黒印刷よりもカラーコピーの方が 1 枚当たりの単価が高くなるため、極力カラーコピーは行わないようにする。研修会等の資料においてどうしてもカラーコピーが必要なときにはカラーコピーとする。

事務所にインターネットの環境が整ったら事務員澤田さんあてに必要な情報 (作成部数等) とともにファイルに送るようにする。都合が合えば澤田さんに病院まで届けてもらうことができるが、急ぎなどで澤田さんの勤務時間外になる場合は事務所まで取りに来てもらうことがあるかもしれない。事前に伝えてもらえれば事務所を使えるようにもする。

〈決定〉

機械化できるものは改善して効率よく業務が行えるようにする。通知の書類を折る折り機の購入も検討していく。OT 士会は全てメールでの配信となった。今後、PT 協会はどのような動きがあるのか問い合わせてみる。

澤田さんに何が依頼できて、何ができないかを今後整理していく。

#### 2. スポーツ理学療法研修会への部員派遣について (オリ・パラスポーツ委員会 小尾委員長 代読有泉局長)

協会では国際競技大会等での活動に向けた人材育成プログラムを作成し 8 月から実施している。対象者は各士会から推薦された「スポーツ理学療法推進協力者=7 名」となっている。旅費、宿泊費、参加費とすると 1 名あたり 3 万円の費用がかかる。費用を個人として支払ってもらうか、士会として支払うか検討していただきたい。2 年間かけて 3 回の研修がある。1 回の研修費が 8000 円。宿泊を伴う研修は 2 回ある。

推薦した 7 名はスポーツ理学療法部員で山梨に生活の拠点が根付いており、県外への転出がないと思われる人を指名した。部の中で各自 2 チームぐらいには帯同して活動をしている。

#### ○高村副会長

研修会の受講費のみでよいのではないか。士会から動員を受ければ断ることができないことに対して推薦者は同意できているのか。

#### ○磯野副会長

先が読めない。動員がかかったときの予算は協会を支払ってもらえるのか

〈決定〉

協会のねらいとしては 2020 年で終わる取り組みではなく、研修を受けた推薦者が障害者スポーツを含めた国際大会等への中心を担い、今後の人材育成を含めて研修会などをうっていくことになる。

推薦者が予算を出してもらうことで士会からの動員を拒否できず、士会に拘束されることに同意しているのかは不明。小尾先生にそれらについての詳細を相談し、急ぎの答えであれば 3 役で検討する。時間的な余裕があれば次回の理事会で検討する。

士会の代表として予算を出していくことで検討していく。

### II. 報告事項 (全 25 題)

#### 1. 各種委員会報告

・表彰委員会：なし

・士会支部組織化検討委員会 (三科委員長)  
郡内の連絡の代表者のメールリストを作成していく予定。

・訪問理学療法委員会 (小林委員長)

平成 30 年度生活期リハビリテーション研修会 (旧訪問リハ実務者研修会) について

10 月 20 日 (土)、21 日 (日) にぴゅあ総合、甲州ケアホームで開催する。

今後、封書発送をして参加者を募りたいと思う。

・災害対策委員会（代読有泉局長）

山梨 JRAT 運営委員会報告

7月30日に竜王リハビリテーション病院で運営委員会を実施した。

内容は県担当者との打ち合わせ、豪雨災害時の愛媛、広島、岡山の JRAT の動きについての報告があった。

・地域支援事業等推進委員会（小林リハ専門職団体協議会理事）

①9月26、27日に笠井先生が地域ケア会議の見学研修に大分県へ参加する予定

②10月30日に第2回地域ケア会議の推進メンバーの研修会が開催される。

③バンク関係からは、10月19日に開催されるいきいき100歳体操の依頼が身延町からきている。自立支援型の地域ケア会議出席の依頼が全9回で甲府市からきている。詳細について現在、確認をとっている。

○磯野副会長

介護予防の推進リーダーと地域ケア会議の推進メンバーの育成ということで動いている。

POS バンクが絡んでいるが、この整理ができておらず非常に煩雑になっている。

今年度のうちに整理して、介護予防、地域ケア会議とバンクなどを結び付けた状態で今年度のうちにまとめていこうと思っている。

・特別支援教育委員会（有泉局長）

①第1回特別支援教育委員会研修会について

8月6日、大木記念ホールで「発達障害、感覚統合について」帝京科学大の石井先生に講義をしていただき158名が参加した。

②子どもの育ちを促す授業づくり研修会について

8月1日、山梨県総合教育センターで有泉局長が講師として派遣され、教員を対象に「子供の姿勢保持や改善を取り入れた授業づくりについて」講義をした。

・認知症対策委員会（小林リハ専門職団体協議会理事）

8月29日、3士会で話し合いを行う予定。

・がんリハ対策推進委員会（磯野副会長）

アンケートが回収でき92%の返信率だった。

県からの委託事業で始まり、がんリハが周知されていないというアンケート結果から次年度、研修会を開催していく予定で動いている。

明後日の会議の中でアンケート結果をまとめ、次年度の研修会に向けて講師を決めていく。

・やまなしリハ-ケアを考える会（磯野副会長）

10月17日研修会を開催予定。ケアマネと一緒に

グループワークを行う予定。

・選挙管理委員会 なし

・オリパラスポーツ委員会（代読 有泉局長）  
身障者スポーツ・クラス分け研修参加報告

・関ブロ女性PTの会（有泉局長）

関ブロ学会時の女性理学療法士の会情報交換会について

藤田先生にお願いしたが都合が悪く、代理も考えたが今回、県士会からは出席は見送った。

・各委員会の予算について（小林リハ専門職団体協議会理事）

専門職団体協議会の理事会が7月29日にあった。前年度から引き継いだ会計関係で3士会の意見交換会でフラットにさせていただいた。

認知症委員会の予算計上が反映されていない。各委員会で研修費が出た時点で、小林先生に報告するようにする。

2. 社会局 委託事業部（古屋局長）

①山梨県立介護実習普及センター第1回運営委員会への出席について

7月24日、県立介護実習普及センターに古屋先生が参加した。

看護協会の会長、山梨県長寿社会課、PT、OT、ケアマネ、介護福祉士等の主催。

②多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会への講師派遣について

8月12日に大森先生を講師として派遣した。

③いきいき山梨ねんりんピック出展内容について  
出展内容としてロコモテストを本来は実施したかったが、十分なスタッフの動員が難しいためテストを実施しない内容に変更した。運動会シーズンのため部長、副部長などの責任者として対応できる人が参加できないことが大きな要因となっている。

来年度はロコモテストが実施できるように、理事や部長への出席の依頼を検討していく。

ロコモの配布資料については著作権の問題があるので出展：整形学会、資料配布：山梨県理学療法士会と明示することを検討する。

3. 学術研修局 第2回学術研修会事業報告について（名取局長）

8月26日に健康科学大学で「呼吸器疾患におけるフィジカルアセスメント」をテーマに石川朗先生に講義をしていただいた。

参加者70名だったが、1名参加費の徴収ができなかった。受付が煩雑だったことが要因であったと思われる。今後、注意をしていく。

4. 学術大会局 第22回山梨県理学療法士会学術集会、準備の進捗状況について（菊池局長）

教育講演Ⅰ、Ⅱは「スポーツ理学療法について」、

「訪問理学療法について」

教育講演Ⅲは新人教育プログラムのリスクマネジメントを予定している。

一般演題の申し込みは現在 25 報告書には一般演題のエントリー受付期間を延長と記載したが、延長はしないことにした。

5. 福祉厚生局（鈴木局長）

医療介護基礎的研修会の昨年の講義の内容を今後、理事に送る。

6. 事務管理局（有泉局長）

①後援承諾について

第 11 回山梨県作業療法学会、山梨県言語聴覚士会第 11 回学会から 2 件

②事務所のインターネット工事等について

9 月 19 日 PM 工事を行う予定。

事務所の電話番号は HP 等に載せる予定はない。

理事の方のみに公開する。事務員との連絡をするために使用。

③全国事務局職員研修の参加報告

7 月 21 日～22 日、東京田町へ有泉局長が参加した。ネットバンキングによる送金が便利であるとの話を聞いた。今後、財務部の業務負担軽減のため検討していきたい。

④全国都道府県士会事務局長会議

9 月 2 日、東京田町へ有泉局長が参加予定。

⑤7 月 1 日から会計事務所と正式な契約が開始される。来年の 6 月 30 日までが契約となる。今年度の 4 月から 6 月分は年度末の監査資料を作成する段階で金額を調整していくのでご了承いただきたい。

Ⅲ. その他

・3 団体の学会のお金の管理について（小林リハ専門職団体協議会理事）

協議会の通帳に学会のお金も一緒に入っている。通常の事業と学会でお金を分けて管理した方がよいので、11 月の 3 士会の会議で提案、検討をしていく。

Ⅳ. 次回の理事会日程について

日時 平成 30 年 9 月 25 日（火） 19 : 00～

場所 県士会事務所

連絡 9 月 21 日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）へ提出する。  
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。  
10 月 23 日が中間監査の予定。監査用の資料を 1 か月前ほどにメールで送る。

Ⅴ. 会長より

- ・今月は新人教育プログラムや県士会主催の研修会、連盟の研修会が開催された。
- ・9 月は都士会 50 周年、栃木の学会などを予定している。引き続きよろしくお願ひしたい。